

説明・協議

「学びに向かう学習集団づくり  
について」

平成30年8月31日(金)  
中津教育事務所

Q

「体育大会」を実施する目的は？  
(何のために行うのでしょうか？)

Q

生徒が目指す「体育大会」と教師が目指す「体育大会」は共有できていると思いますか？  
それはなぜですか？

# 「学びに向かう学校」づくりとは？

## 全教職員

新大分スタンダード  
による授業改善（特に  
生徒指導の3機能の  
重視）

## 生徒

主体的・対話的で深い  
学びを自らの手で  
実現するための特別  
活動の充実

生徒の学びに向かう力  
（意欲、集中力、持続力、  
協働する力など）  
思考力・判断力・表現力  
等の向上

# 中学校学力向上対策 3つの提言

大分県教育委員会（H28年2月）

## 1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底

- ①生徒指導の三機能を意識した問題解決的な展開の授業を充実させるとともに、習熟度別指導を積極的に導入する。
- ②教科の壁を越え、全ての教科に共通した授業改善の取組内容を設定し、その視点に基づく互見授業・授業研究を実施する。

## 2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築

- ①小規模校は、校内研修の枠で、近隣の学校と合同教科部会をもち、指導案や評価問題、教材の作成等を行う。
- ②複数の教科担任がいる学校は、教科担任の「タテ持ち」や日課表・週時程表に位置づけた教科部会の実施により相談や切磋琢磨できる環境を作る。

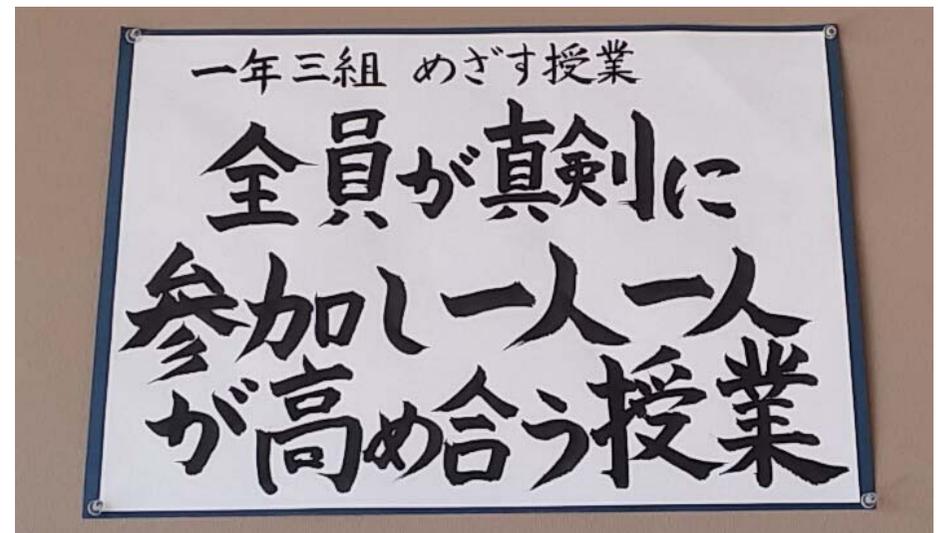
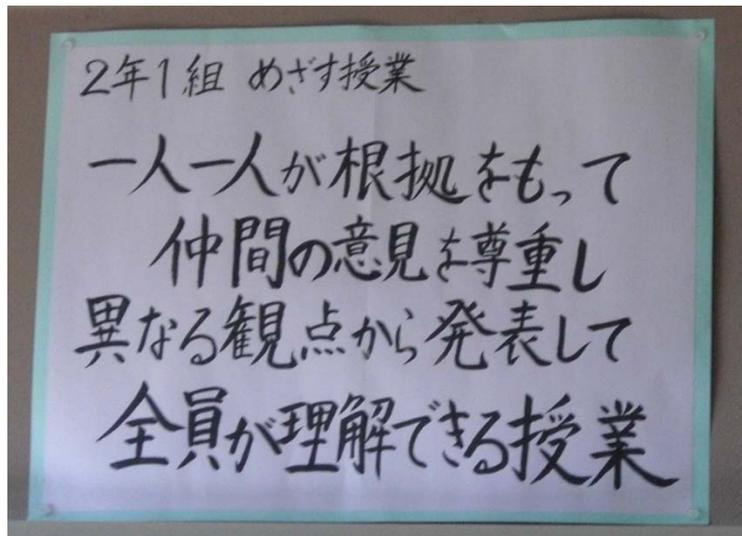
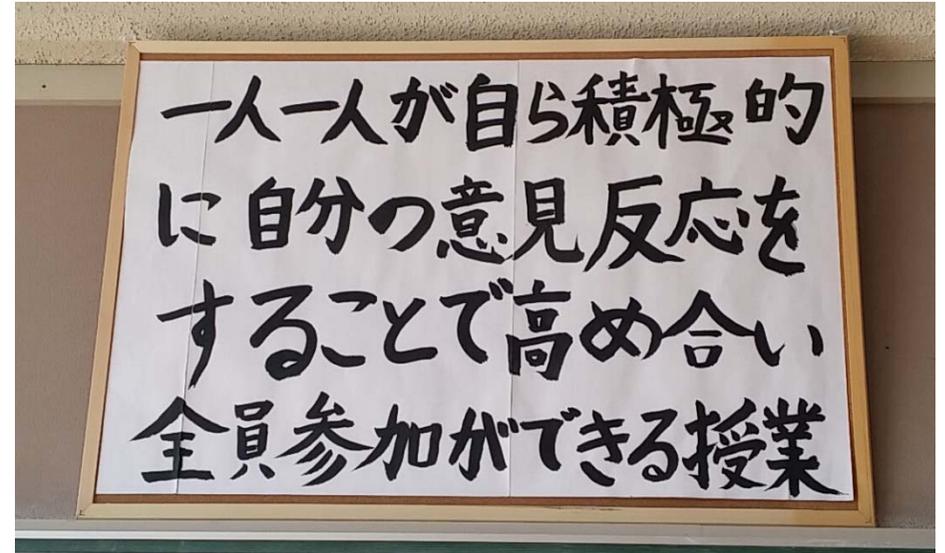
## 3 「生徒と共に創る授業」の推進

- ①生徒による授業評価を実施し、それを授業改善に反映する。
- ②学校が目指す授業像を生徒と共有し、それに向かう学習集団としての目標を設定させ、適宜振り返り活動を行う。

平成30年度「中学校学力向上対策 3つの提言」に係る  
取組状況等調査（平成30年7月頃実施）

●生徒が自分たちのめざす「授業像」を追求することができていますか。（複数回答：中津教育事務所管内23校）

ア	学年や学級で「目標」を設定するなどして、学習集団としてめざす「授業像」を明確にしている。	
イ	めざす「授業像」に対して、適宜振り返る活動を行い、生徒が自らPDCAサイクルを回している。	
ウ	学習規律や授業のきまり等を生徒が考え、それを守る取組を生徒会や学級会で行っている。	
エ	授業の受け方等について問題があれば、学級会等で話し合いを持ち、自分たちで改善しようとしている。	
オ	生徒会等で、学習に関するキャンペーン等を行っている。	



## 【学級の経営目標（教師側）の考え方】

学級の経営目標は、  
学校の教育目標の  
実現に向けて、  
学校の重点目標  
学年の目標  
を踏まえて設定する。

学校の教育目標



学校の重点目標

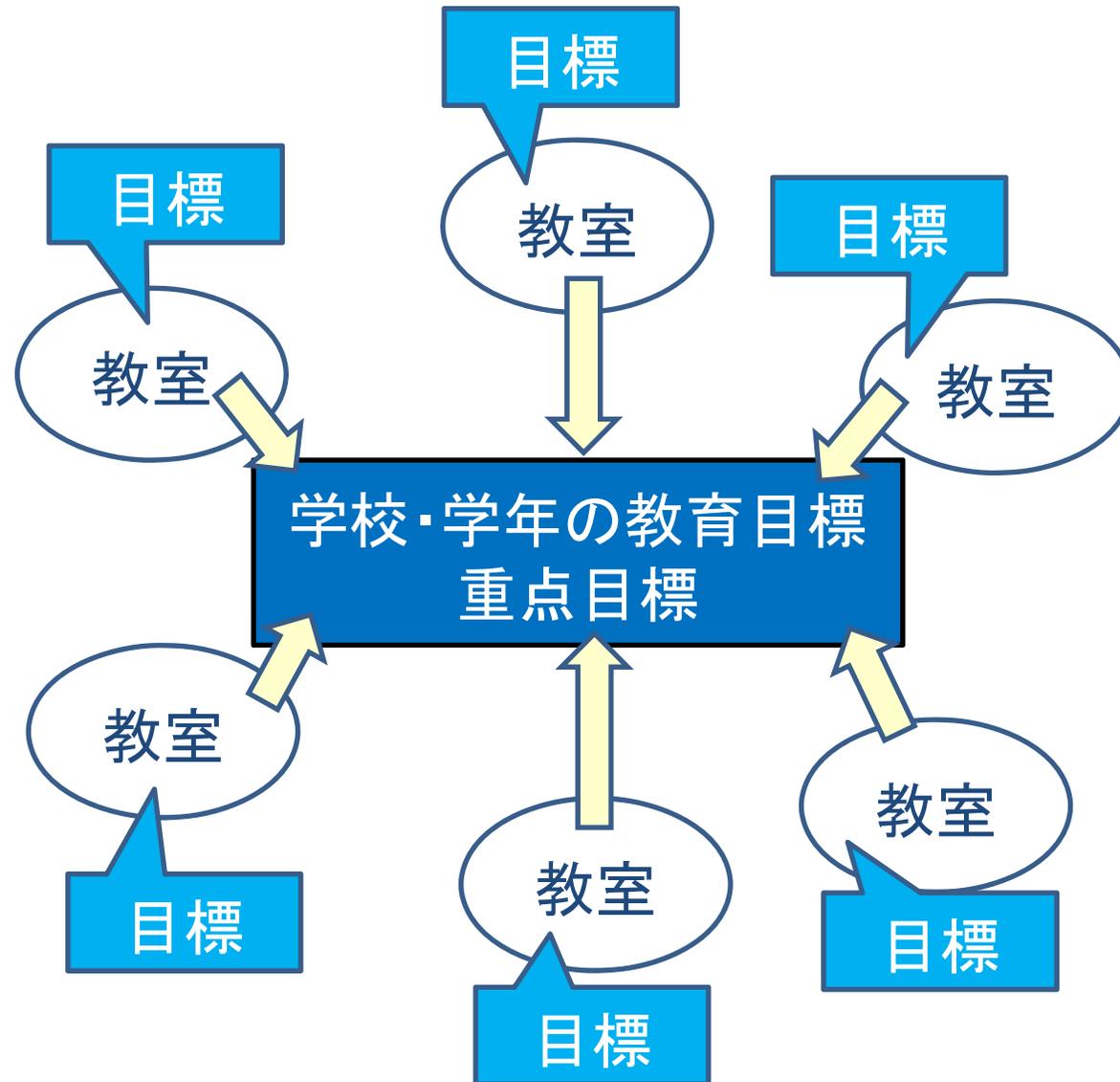


学年の目標



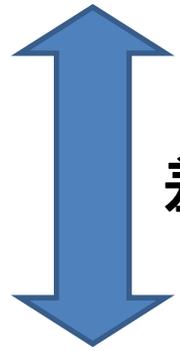
学級の経営目標

# 【学級の経営目標（教師側）の考え方】



目標

- あるべき姿
- 望ましい状態
- ありたい姿
- 守るべき規準



差(ギャップ) =

問題  
(事実)

課題  
(解決すべきこと)



差の解消

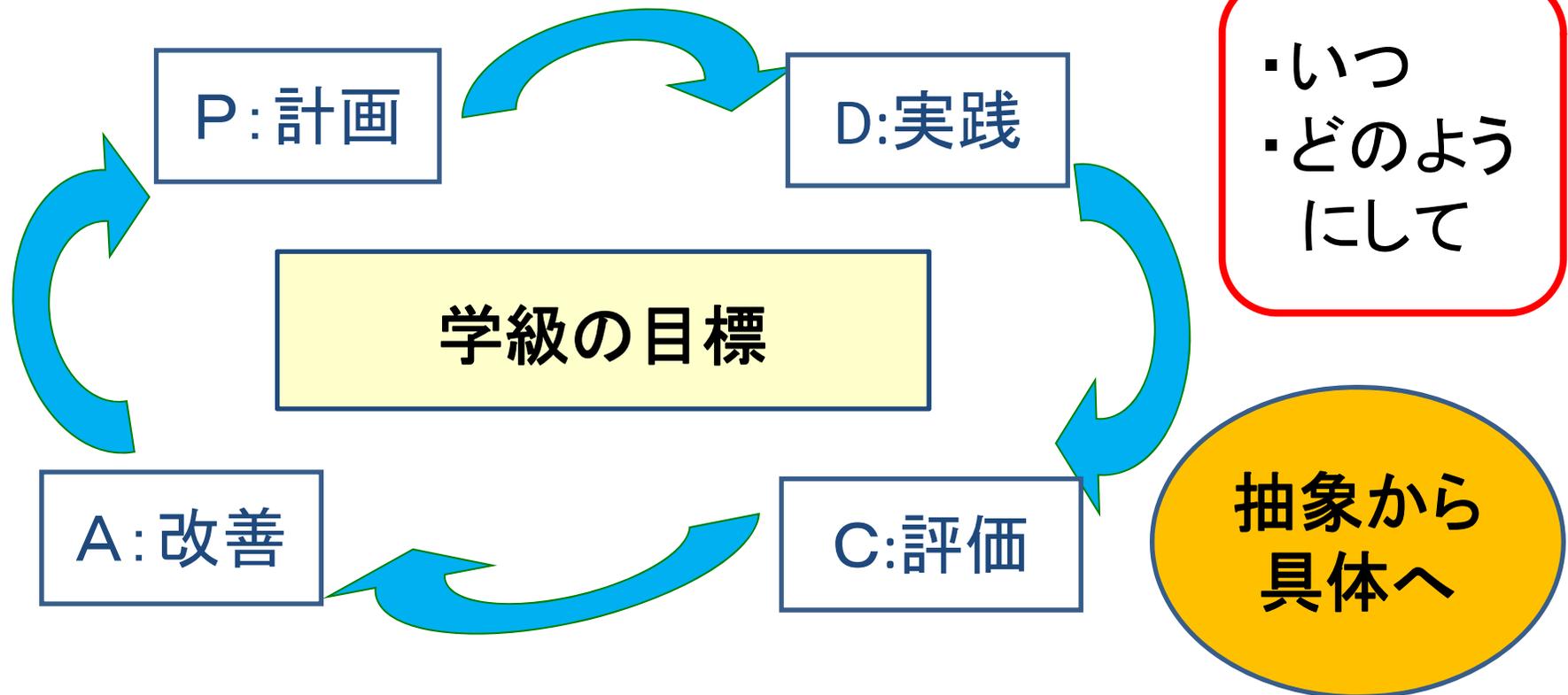
=

問題解決

現状の引き上げ

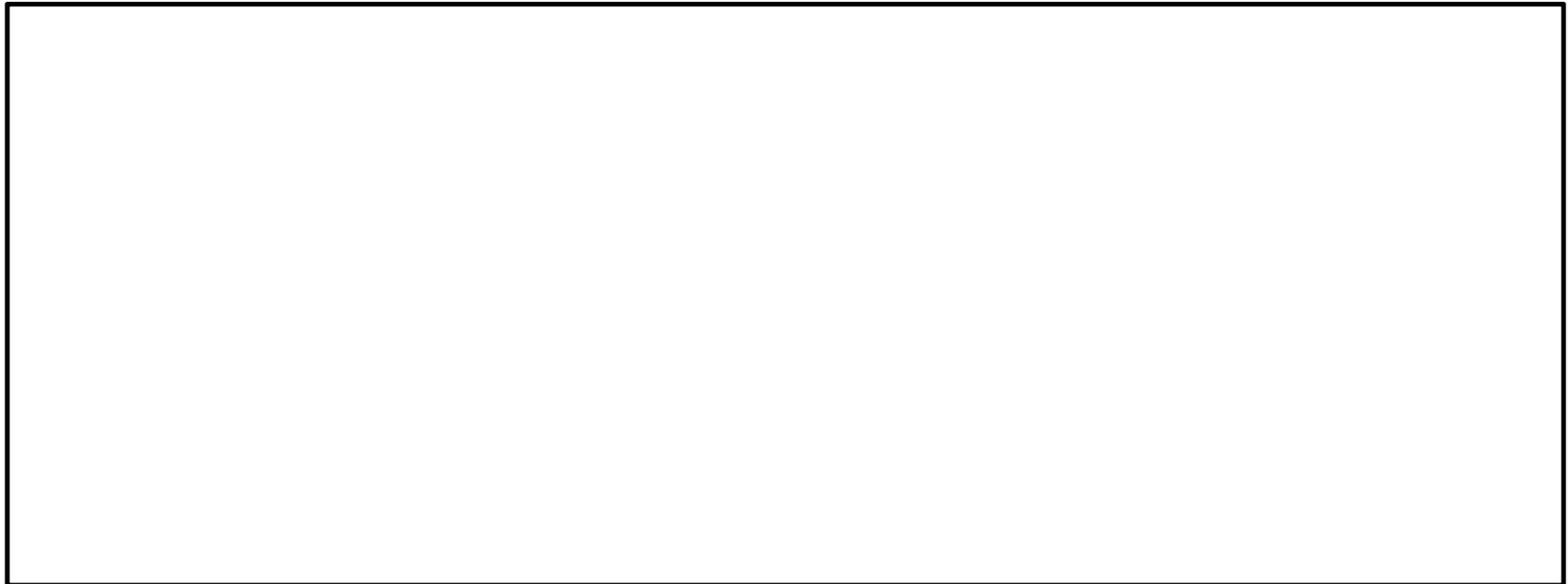
現状

# 【目標の達成に向けた取組のポイント】



Q

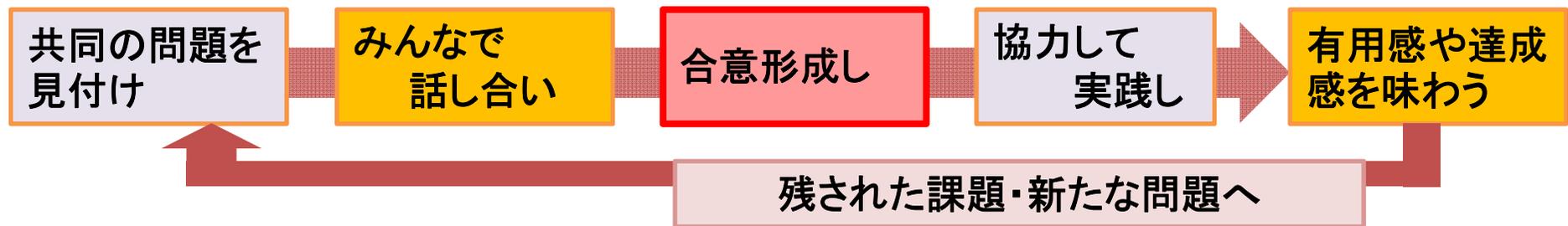
「目標を設定させ、適宜振り返り活動を行う」とありますが、各学校ではどのように行っていますか？どのようにすることが大切だと思いますか？



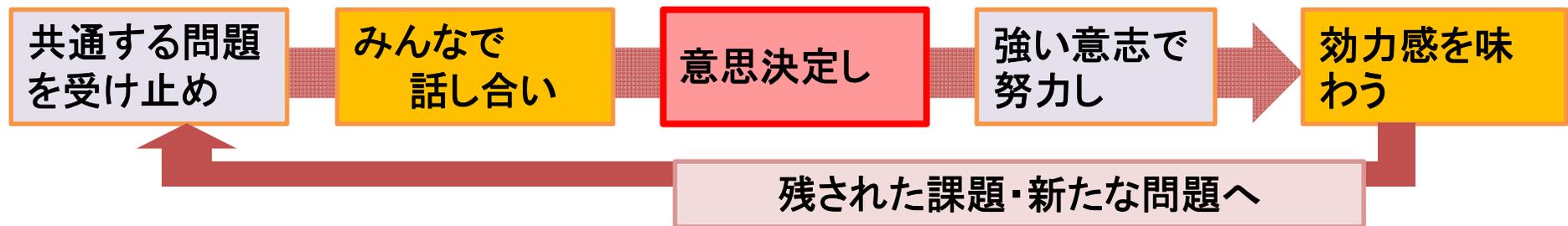
# 生徒会・学級活動におけるサイクル

- 事前の活動
  - ・根拠(現状・原因)を明確にした上での意見の出し合い。
- 話し合い活動
  - ・互いの意見の比べ合い(他者理解)、折り合い。
  - ・今の学級としての総意を決定。
- 事後の活動
  - ・振り返りや相互評価、反省。次の活動へ繋げる。

## 集団としての意見をまとめる(合意形成する)ための話し合い活動



## 自己の生き方について考えを見定める(意思決定する)ための話し合い活動



【実践事例】大分県のある中学校の取組事例から

①学校の**重点目標**(学カプラン・校内研修)



②生徒会の**学習委員会**(代表委員会)の**目標設定**



③委員会目標から**各学級の目標**を設定



④学級の具体的な**行動目標**を**複数**設定

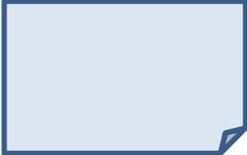
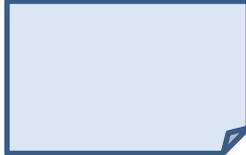


⑤月ごとに**検証・評価・改善**＋取組進捗共有

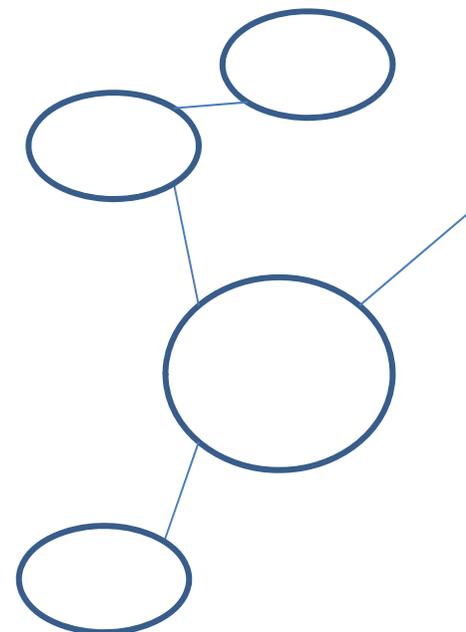
## 【実践事例】大分県のある中学校の取組事例から

### ④ 学級の具体的な行動目標を複数設定

マンダラシート

		
	達成するには何をすればよいか？	

ウェビング・マインドマップ



- ◇複数の行動目標から、**今月の取組を設定**
- ・実現可能な行動目標の順番で決める。

## 【実践事例】大分県のある中学校の取組事例から

### ⑤ 月ごとに検証・評価・改善＋取組進捗共有

#### ◇学級で行動目標の達成状況を把握

- ・ 達成できた → 行動の修正or新たな行動へ
- ・ 達成できなかった → 原因及び行動の修正

#### ◇学習委員会（代表委員会）で各学級の状況把握

- ・ 実践の共有
- ・ 学級の取組へ生かす
- ・ 学習委員会の目標への達成を振り返らせる
- ・ 全校が同じ課題であれば、全校で取組を進める

#### ◇全校集会などで、生徒会から各学級の取組評価（認める場）。

- ・ 教師からは状況に応じて適宜。

## 【実践事例】大分県のある中学校の取組事例から

### ⑤ 月ごとに検証・評価・改善＋取組進捗共有

#### 【1歩前進シート】

学習委員会目標	
学級の学習目標	
6月の行動目標 (具体的な取組は?)	
その理由 (なぜその行動目標を設定?)	
6月の行動目標は達成できたか?	
その理由 (なぜできた?なぜできなかった?)	
7月の行動目標 (継続、修正、新たな目標)	
その理由 (なぜその行動目標を設定?)	

※学級の行動目標は、委員会後に修正してもよいとしていた。

※ このシートをもとに、委員会内で異学年グループで交流するとともに、取組や行動目標などについて協議する。

平成30年度「中学校学力向上対策 3つの提言」に係る  
取組状況等調査（平成30年7月頃実施）

●生徒による「授業評価」を実施していますか？

ア	以前から実施している	
イ	今年度から実施している	
ウ	今年度中の実施を検討している	
エ	実施していないし、今後も実施する予定はない	

●どのくらいの頻度で実施する予定か？

ア	毎時間	
イ	単元ごと	
ウ	月に1回程度	
エ	学期に2回程度	

オ	学期に1回程度	
カ	年に2回程度	
キ	その他	

平成30年度「中学校学力向上対策 3つの提言」に係る  
取組状況等調査（平成30年7月頃実施）

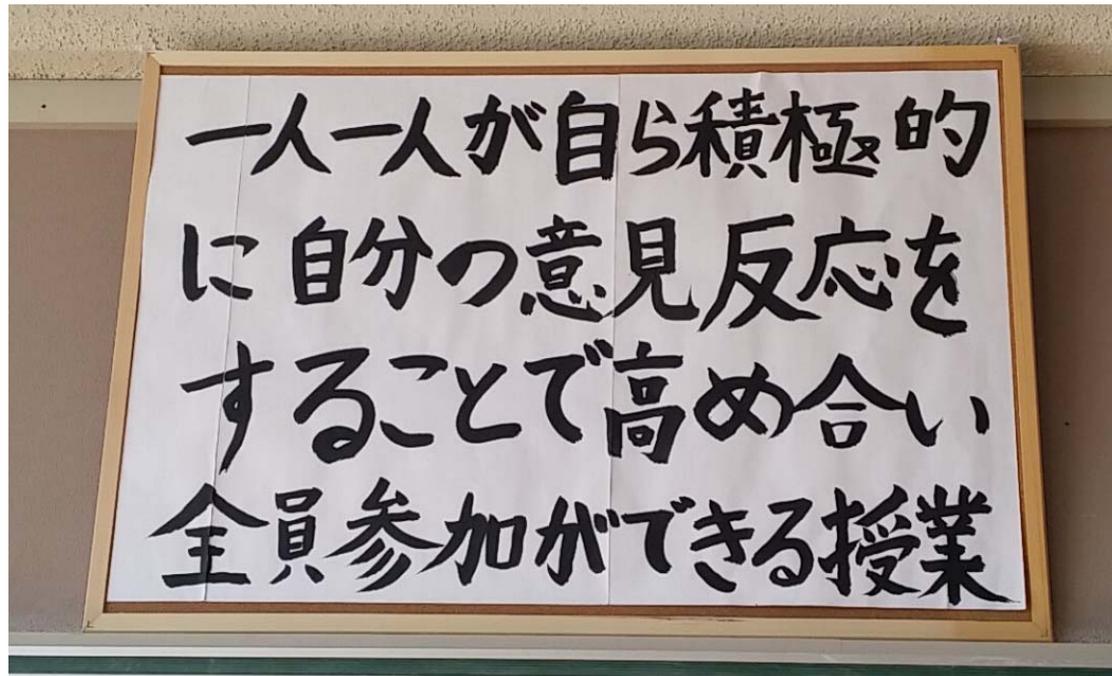
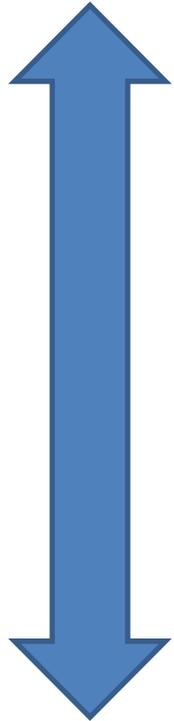
●生徒による「授業評価」が、授業改善に生かされていますか？

ア	生かされている	
イ	どちらかといえば生かされている	
ウ	あまり生かされていない	
エ	生かされていない	
オ	取組を始めたばかりなのでまだ分からない	

●生徒による「授業評価」を生かした授業改善により、生徒の学習に対する意欲が向上したと思いますか？

ア	向上した	
イ	どちらかといえば向上した	
ウ	どちらかといえば向上していない	
エ	向上していない	

## ●学級の授業(学習)目標



## ●生徒による「授業評価」のアンケート調査項目の1つに…

(例) 授業では、積極的に自分の意見を発言できるような場が設定されていましたか？

## 【本協議会の受講者の感想等】

○「学級目標」や「生徒会目標」など、目標が生徒たちの中に生きていないように感じたので、もっと「目標」を生徒に意識させ、その上でPDCAサイクルが回せるようにしていきたい。

○授業や学校行事で「めざす姿」を教員・生徒ともに共通理解しておくことが大切。

○生徒と教職員が目標、目標達成のための取組を共有することが重要だと感じたので、意識して仕組んでいきたい。

○「生徒会活動」という視点で、「学びに向かう学校づくり」の取組にはどのようなものがあるのか再認識できて、有意義だった。

○主体的に具体的な活動を考えさせたり、活動させたりするために、思考ツール(マンダラシート等)を効果的に活用する方法について分かってよかった。

○レーダーチャートで可視化したり、学校ごとに工夫して目標に向かって活動していることに驚いた。学校に帰って資料を配布して共有したい。

○各校の取組について交流ができてよかった。生徒が主体的に活動するためには、教師の意図的な仕掛けや評価が大切であると感じた。